

平成28年度 理科新任教員研修会 報告書

報告者 理科専門委員 加藤 明日香

実施日 平成28年11月11日(金)

実施校 静岡聖光学院中学校・高等学校

参加者 15名

研修報告

1. 研修目標 「好奇心を刺激する理科」

2. 開会式 12:50~13:10 (受付 12:30~12:50)

開催校挨拶 静岡聖光学院中学校・高等学校 校長 岡村 壽夫 先生
部会長挨拶 浜松開誠館中学校・高等学校 校長 中西 孝徳 先生
(代読 副部会長 坂井 国雄 先生)

3. 公開授業 13:20~14:10

① 齋藤 泰正 先生

実施クラス 高校1年A組 23名
科目名 生物基礎 (単位数2)
単元 第3章 免疫 「第1節 免疫とは」
教科書 生物基礎 (出版社 啓林館)

② 村越 要介 先生

実施クラス 高校1年B組 18名
科目名 化学基礎 (単位数2)
単元 化学反応式と物質量
教科書 化学基礎 (出版社 啓林館)

③ 佐藤 弘幸 先生

実施クラス 中学3年A組 28名
単元 化学変化と原子・分子 「分解反応」
教科書 新しい科学の教科書 化学 (左巻 健男 編)

4. 合評会・閉会式 14:20~15:20



① 齋藤 泰正 先生 (生物基礎)



② 村越 要介 先生 (化学基礎)



③ 佐藤 弘幸 先生 (理科・化学分野)

5. 授業担当者の反省

- ・自分自身が緊張してしまい、それが生徒に伝わり、生徒が緊張していた。
- ・予想以上に生徒から意見が出た。
- ・予定していた時間配分とずれてしまった。もっと発展課題に時間をかけたかった。
- ・内容が多過ぎた。

6. 合評会の内容 質疑応答

- ・視覚に訴える工夫がされている。
- ・生徒の意欲、取り組む姿勢、発言ができている。日頃の指導がきちんとされているのがわかる。
- ・生徒を飽きさせない工夫がされている。
- ・毎回、生物基礎はパソコンやTVを使用している。
- ・プリントの学習を自分たちで進められて良い。
- ・先生方の個性と工夫がされている。(三者三様)
- ・量が盛りだくさん過ぎたのでは？ 量を減らすと良いと思う。
- ・手を挙げずに発言しているが、授業に関係していることだけ話していて良かった。
- ・3つの授業を同時に行う公開授業は初めてで良かった。
- ・生物基礎 → 視覚、化学基礎 → 可視化、理科 → 実験を通して、という授業でとても参考になった。
- ・演示実験であるのに、生徒全員が参加している。普段から考えさせる授業が行われていたことがわかった。

- ・暗記カード → どんなところをつまずくのかがわかり参考になった。
- ・生物基礎は ICT を利用し、授業の始めに流れ、手順が示されていてわかりやすい。
- ・教室でも演示実験ができるところが良い。
- ・今年度から桐陽高等学校は ICT の導入。iPad が教員に一人一台支給されている。
- ・スライドがシンプルでわかりやすい。
- ・生物基礎 → 4月からいろいろ試し、現在の形に、夏過ぎに落ち着いた。アウトプットが大切だと考えている。
- ・理科→意欲の高さを感じた。ストーリー展開が考えられている。時間が経つのが早い。理科への関心を高める。授業準備がきちんとされていて、準備の大切さを感じた。
- ・生徒がプリントにメモをとる。男子生徒は、ノートをそれほどとりたがらない。